

第4回 鶴川西地区新たな学校づくり基本計画推進協議会 議事要旨

開催日時	2024年2月19日（月） 9：33～11：06	
開催場所	町田市立鶴川第三小学校 視聴覚室（ウェブ会議併用）	
出席者 （敬称略）	委員	豊田委員、岩永委員、柄澤委員、竹村委員、功刀委員、田中委員、大隅委員、仲村委員、浅沼委員、◎鰐坂委員、○悴田委員 （◎：会長、○：副会長）
	事務局	教育総務課、新たな学校づくり推進課、施設課、学務課、保健給食課、指導課、教育センター、児童青少年課
傍聴者	2名	

議事内容（敬称略）

学校教育部長挨拶 鶴川西地区の推進協議会委員の皆様におかれましては、2023年5月に本協議会を設置して以降、今年度は全4回、本協議会にご出席いただき、忌憚のないご意見、ご議論をいただいたことに感謝申し上げます。

この協議会では、引き継ぎたいもの・ことの保存方法や、今まで学校で大切にしてきたこと、学校の整備手法や運営方法、これからの学校をよりよくしていくためのご意見をいただいた。

子どもたちがその時代に合った教育が適切に受けられるよう必要な議論であったと思う。

2023年度の協議会は本日で終了となるが、次年度以降も引き続き、新校舎で子どもたちが教育を受けられるようになるまで、本協議会において、必要な意見交換を行わせていただきたいと考えている。

引き続き、皆様のご協力を重ねてお願い申し上げて、御礼とさせていただきます。

1 第3回推進協議会の振り返り

新たな学校推進課 （資料1 説明）

2 報告事項

（1）鶴川地区スケジュール変更

新たな学校推進課 （資料2-1、2-1（別紙）説明）

委員 結論から言うと、変更後のスケジュールのほうが良いと思う。鶴二小へは何度も行ったことがあるが、鶴二小の敷地で授業をやりながら、新しい校舎を建てるというようなことが本当に可能なのかと疑問だった。その時期は、運動会はできないのではないだろうかと思っていたので、今回のようなスケジュールになり、学校の授業をしながら隣で工事をやっているというよりも、変更後のスケジュールのほうが良かったと考えている。

（２）仮校舎時（鶴三小校舎）の教室状況

施設課 （資料２－２説明）

委員 資料に平面図が書いてあるが、それを見ていて、鶴三小の鶴二中に一番近いところは４階があるがここに載っていない。それは記載漏れというよりも改修の対象になっていないから載せなかったのか。

施設課 改修の対象となっていないので、今回は載せていない。

委員 鶴三小は、一番学級数が多いときに３０学級だった。各学年５クラスずつ、６学年で３０学級あった。それで、普通学級が２４学級、特別支援学級が６学級、合わせて３０学級で、ぎりぎり改修工事で何とかカバーできるかと。ただ、ここで改修工事と書いてあるから、もし足りなかった場合は、プレハブを建てるなどの想定はしていないのか。改修工事というのは、あくまでも今の校舎の中の間仕切りを変えるということなのか。

委員 ボランティアコーディネーターという立場から参加しているので、鶴三小の特徴としては、図面の上のほうの左端に和室がある。こちらは日本伝統関係で常時使っている。着替え室としても使っているが、この場所は、２０２６年２月末に転用の工事が実施されるということなのか。２０２６年の夏休み前までは使えるのか。

施設課 ２０２５年７月から工事が入るので、その前までは使用できる想定でいる。

委員 現在、鶴三小では、１階にある和室の部屋を「まちとも」の部屋として使用している。人数が増えると、またさらにちょっと大きな部屋が必要になると思うが、そういった学童、「まちとも」の部屋は、まだ想定していないのか。

施設課 「まちとも」や学童を所管している児童青少年課と施設課でも検討していて、これから実際に、まちとも運営協議会と協議をする予定である。まだ場所等は確定していなが、実際に検討している部屋名だと、鶴三小には図書室が２か所ある。そういった場所の利用を検討するなど、今後、話し合いをしたいと考えている。

副会長 「まちとも」と学童については、前回もいろいろ話題に出ているので、しっかり検討をしてほしい。

委員 先ほど全部改修で済むという話があったが、学童は改修の対象になっていないように見えるが、そのままこの場所にというようなことを考えているのか。

もし、本当に教室数が足りなくなった場合、学童と「まちとも」は改修せずに、以前、鶴三小にあったようなプレハブでいいと思う。要するに、学童と比べたら、子どもたちが授業を受ける教室を優先していただきたいと思う。

（３）新たな小学校への歴史の継承

新たな学校推進課 （資料２－３説明）

委員 １年後に統合が予定されている学校があるということで、そちらの歴史の継承に予算はどれぐらいかかる予定なのか。

新たな学校推進課 業者に委託を予定しているが、具体的な委託費に関しては、８０万ほどでできる

と聞いている。もうすでに、南成瀬地区で撮影などを行っている。鶴川地区も同様に入札で業者を決めていく予定である。

委員 その80万は、VR単体だけの予算なのか。

新たな学校推進課 3つ大きくあり、1つがVRツアーで、例えばカメラを真ん中に置いて360度撮るというものを何か所か行う。学校の中を練り歩いているような形で、廊下から指定の教室を回っていくようなもの。もう一つが3分程度の学校のPR動画の制作、そこも写真を撮ったり、動画を撮ったりする。3つ目は、静止画の写真、フォトアルバムを電子的に行う。何十枚かの写真を残していく。この3つの全部セットで先ほどの金額で発注している。

委員 その他に残っている資料は学校によって違うと思うので、また予算が変わってくるのかと思うが、今回、スケジュール変更でまた予算が大幅に増えるのではないかと考えているが、歴史の継承でVRを撮る必要があるかという意見を出した方の話を聞いたところ、やはり新しい校舎などを手厚くするべきだという意見がある。そういうふうにお話をしたと思うが、お金のことにに関しては詳細が出てきていないので、どのくらい増えているのかとか、想像がつかないが、減っているとは思えない。これは、そのとき、こういう工事がなかった、クラスの改変、教室数確保の話がなかったときに話していたことなので、予算として削れる部分があるのだったら削ってもいいのではと正直思う。

新たな学校推進課 もともと、鶴川東、西を同時期に行うということで予算の確保に努めていた。本来であれば、2地区なのでほぼ約2倍の予算を取ろうとしたが、今回スケジュールの変更があり、鶴川東地区に関しては予算を落とした。鶴川東地区がなくなったから分を上乗せができるわけではなく、影響の出る部分はゼロ査定になってしまったというのが一応現状の市の予算使用ルールになる。なので、鶴川西地区に限定した形での予算の確保というのは、まだ3月議会が終わっていないので確定ではない。それを実際の予算と委託費、入札にかけた金額とで使っていくというので整理をしたいと思っている。

(4)「鶴川西地区児童交流について」

副会長 (資料2-4説明)

委員 今、校長から交流会の報告をもらったが、例えば鶴四小の児童が鶴三小に来るときの時間や経路がどういう最短距離を取られたのか。そのかかった時間で子どもから何か話を聞いたことはあるか。

副会長 正直、交流のときの時間がどれぐらいかかったというのは聞いていない。ただ、子どもの足で行くと30分弱はかかるかなと思う。

委員 片道30分、往復で1時間かかるのか。

委員 どこからどこまでが30分なのか。

会長 学校から子どもたちがずっと歩きながら来るのに、30分弱はかかるかなと思う。

- 委員 VCと一緒に同行していたので聞いたが、結構疲れたと聞いていたので、子どものほうはどうだったか聞いてみたい。
- 副会長 集団で歩いていくとどうしても時間がかかってしまうので、そういうところの気の遣い方や1年生と一緒にいる100人超えの子どもたちが移動するので、やはりタイムラグは出てくる。引率は大変疲れると思う。
- 委員 そうだと思います。ありがとうございます。
- 委員 今、30分というのが出たのであえて言うが、私は、この交流のことがあるので、鶴四小の正門前から鶴三小まで歩いたら何分か、大蔵小まで歩いたら何分か、鶴二小まで歩いたら何分か、あと統合小学校までも歩いた。鶴二小までも歩いた。意外なことに、鶴四小から一番近いのは鶴一小。2番目が大蔵小。鶴三小は3番目で、私の70過ぎた者の足で鶴四小の正門から鶴三小の正門まで12分。私の足で鶴四小の正門から鶴二小の正門までも22分。それで、あえてそういうことで試してた。鶴二丁目の一番端のほう、一丁目に一番近いところから鶴二小の校庭まで普通に歩いたら何分か、私の足で15分。それで、私は、頭の中でこれならあまり問題ないなと思った。
- あと、意見になるが、私は自分の経験で少し意味があったかなと思うことが、三鷹市が中学校1校と小学校2校で小中一貫の学園をつくるという話があった。こちらの学校とこちらの学校はそれぞれ1学年70人ぐらだから、遠足を一緒にやろうよということで、1年から6年までみんな、両方を合わせて150人だったら一緒に遠足をやれば交流になるのではないかと続けていた。やはりそれなりに効果はあったと思う。
- 私は、もう来年度からでもいいから、鶴三小と鶴四小の1年生を合せて100人ぐらいなので、一緒に遠足をやろうよというようなことになったらと。それで、私は、1年から6年まで目的地はここがいいだろうというのは、1年生はここ、2年生はここと私の頭の中で案があります。ぜひ、来年度あたりからやっていくと、交流になるのではないかなと思う。
- 副会長 時間については、集団で歩いた時間で言ったので、実際に登校するときには15分から20数分くらいかなとは思いますが、100人超えで歩いたときは30分ぐらいはかかってしまうかと。
- それから、来年度以降については、今、校長とも相談をしながら、今回1、2年生だったが、ほかの学年でも何かしら交流ができないかなと。遠足が急にできるかというのはちょっと分からないが、交流はしていくという方向性で今話を進めている。
- ほかにいかがでしょうか。
- 委員 今後も交流があるということを前提に、3、4年生、5、6年生になると、集団行動の質も変わってくると思う。今後、行き帰りの通学路を前提とした道路の危険性を、5、6年生であれば本人たちも併せて先生たちと一緒に見る。3、4年生になると今度はこういったものに興味を引かれていたかというのを先生に見

てもらい、歩く場所に関してももう少し興味を持った内容にして交流すると、その学年の成長の具合というのがあると思うので、併せてやってもらえればと思う。

会長 現在の通学路の話で、鶴三小も、鶴四小も、4年生のときに安全マップを作る。今回、4年生で、安全マップ作りで広袴や真光寺の近くまで行った。本来ならば、ここに安全マップのことをスライドにして鶴四小に送りたいという気持ちがあったが、それを作り上げることができず、本当はそれに言葉を入れて、これを見たら鶴四小の子どもが分かる、ここのところが危ないと分かるような、安全マップを想定してた。

なので、どうしてもここに組み込むことができない、現物がなかったので組み込めなかったが、そういう活動はしている。それを含めて、鶴四小のほうでも安全マップをもし作るときがあったら、こういう情報交換で、お互いに、この場所は危なかったなどが共有できるといいなと思う。

委員 60年も前のことを話すが、統合することであまり心配することはないと思っている。というのは、なぜ60年前のことを言うかということ、私は忠生小学校だったが、木曽分校というのがあった。それで、3年まで木曽分校があって、分校の子どもが4年生になると本校のほうへ来て一緒にいる。それで、一緒にいることで、もう子どもは、仲よしになるのが早い。1か月も経てば、もう前からずっと友達だったというようなくらいにすぐになる。

委員 だから、昔と今は違うかもしれないが、子どものほうはそんなに一緒にいるので大変なことではない。先生のほうが交流をして、こうやって一つにまとまっていくほうが、大人のほうが難しい。子どもはすぐだと思う。

(5)「2024年度鶴川西地区推進協議会のスケジュールについて」

新たな学校推進課 (資料2-5説明)

委員 木曜日の午前中は子どもセンターのボランティアが入っているので、木曜日に開催となったら出られない。

新たな学校推進課 木曜日の開催で午後はどうか。

委員 午後なら大丈夫。

新たな学校推進課 日程については事務局で議論していく。

委員 午後になると、逆に動きにくくなってしまうこともある。いろんな送迎がある中なので、いろいろと合わせられるところは合わせていきたいと思う。

新たな学校推進課 できれば、やはり月曜日で、なおかつ学校の土曜授業なども鑑みたくて、日程などをこちらで決めていきたい。木曜日案を出したが月曜日の案のままで進めていきたいと思う。

また、来年度は2024年5月20日の月曜日と一応記載しているが、鶴三小、鶴四小の学校行事なども含めて、また追って確定日などは連絡をしたいと思う。

委員 火、金曜が入っていないのはあえてなのか。水曜が鶴川東地区だと分かっている

るが。

新たな学校推進課 具体的に言うと、火曜日が南成瀬地区、金曜日が本町田地区。本町田地区に関しては、夜間も含めて柔軟に行っているので、日中、夜間というのをうまく活用している。本町田地区は3校が合わさるということで日程調整に苦慮はしているが、今のところ、金曜日の夕方や日中でうまくコントロールしている。

鶴川東地区も、来年度、回数は少し減るかもしれないが開催を予定している。

3 検討事項

「新たな学校の校歌・校章の作成について（ワークショップ）」

新たな学校推進課 （資料3-1 説明）

委員 皆さんで話し合う前に一つ言っておきたい。

鶴二小、鶴三小、鶴四小と、この順番で開設をした。でも、校歌ができた順番は、鶴四小、鶴二小、鶴三小。

それで、鶴四小がなぜ1番目にできたのかというと、鶴四小は、できたときに鶴三小から分かれ、それから一部、真光寺は鶴二小の学区域だったから、鶴二小の先生と鶴三小の先生が鶴四小の先生になっているのが何人かいた。その先生たちが鶴二小でも、鶴三小でも卒業式で校歌がなかったから校歌が歌えなかったと。だから、最初の頃の卒業生は校歌なんて知らないんだと。鶴四小ができたら、もうぜひ第1回の卒業式から校歌を歌って卒業させたいというので、では、もう早速つくろうというようなことで、鶴四小はすぐ開校した年に校歌ができた。

それで、私はこのスケジュールを見て、新しい学校が開校のときに校歌や校章ができていくという計画で進めると、そうやっていただけるのは大変いいことだ、ぜひそういうふうにしていただきたいと思い、よかったなと思っている。

新たな学校推進課 事務局では開校前に校歌・校章を作成し、例えば、新しい学校の入学式のタイミングで歌ってあげられるようにしたらうれしいのかなや、開校前に準備して、それを合同授業にして交流にしてもいいのかななど、いろいろな思いが実はある。うまくこのスケジュールに乗って開校できるといいと感じている。

委員 今、校歌・校章について、A、B、Cのパターンが出ているが、包括協定に参加している学校の一覧で、例えばもう恵泉女学園大学はもうない。学生を募集していないので、敷地も売ってしまった。国土館と明治大が買ったのかと。

それで、例えば真光寺中学校の校歌は、第2期生と第3期生の生徒がつくっている。この地域の鶴三小も鶴四小も、卒業生の一番多くは真光寺中学と鶴二中に行っている生徒が多いので、そういう生徒から、あるいはそのOBから募集するというのが私はいいと思う。A、Bのパターンというのはどこの学校でもやることで、おそらく古閑裕而（こせきゆうじ）あたりが作曲している校歌というのが日本では一番多いと思う。それが私は一番つまらないと思う。卒業生や何かに作曲させたり、作詞させたりするのが一番いいと思う。それができなければCパ

ターン、それに音楽の教員や図工の教員がプラスをする。

それから、卒業生も含めて、あるいは現在の小学校の在校生に、図画の時間などに校章のデザインを授業でやっていただきたい。そういうところで、もしそういう図案や作詞、作曲を生徒や卒業生がやるならば、私は、町内会からそれに対する賞品ぐらいは出してもいいと思う。図書券ぐらいは配る。そのぐらいのことをやるべきで、できるだけプロの作曲家なんかには頼まない、プロの作詞家なんかには頼まない。卒業生と在校生がつくるというのが一番いいと思う。それを教育の一環としてやっていただけたら素晴らしいと思う。だから、そういう点は、真光寺中学や鶴四小の作成過程というのが一番よかったのではないかなと思う。

〔 ワークショップ 〕

事務局

Aグループとして出た意見では、地域にできる学校なので、地域の皆でつくっていただきたいというところが一番大きなポイントであった。公募するところも、児童に限らず近隣の中学生、特に鶴二中、真光寺中の生徒で、特に音楽であったり、美術であったり、そういったところに興味がある子は作れてしまうのではないかと、あとはフレーズも出てくるのではないかなと思う。

例えば校章を公募でつくった後、全国にいろんなアイデアのあるデザイン絵があります。そういったところと照らし合わせないといけないということもあるので、権利関係であるとか、そういった問題がオリンピックのときにもあった経験があるので、そういったところも踏まえて、法律的な部分もクリアにするというところで整理ができればいいのかなとの意見があった。

事務局

Bグループとして出た意見では、校章について、公募の条件として、鶴三小、鶴四小ともに鶴がイメージとなっているので、そこをちょっと外したような斬新なデザインはやめていただきたいと。今後、新しい鶴川中央小学校になるので、今度、そうすると鶴川中学校とちょっと校章が似てしまうと難しいところがある。そのあたりも条件に入れたらどうだというのが意見としてあった。

校歌については、歌われるのは小学生なので、例えば専門家等に依頼してしまうと、少し凝り過ぎたメロディーになってしまうので、やはり自分の経験でもそうだが、シンプルなメロディーが一番覚えているので、より簡単な音調等でつくっていただけるのが一番いいのではないかなとの意見が出た。また、校歌については、子どもたちから、いろんな言葉を集めるのはとてもいいことだと。ただ、鶴三小と鶴四小でそれぞれ思いがあると思うので、そのバランスを整えるのがとても大事だという話が出た。

あとは、これは2つとも校歌、校章にも関することだが、交流では子どもたちが関わるのが大事なので、その過程をぜひ重視してほしいというお話があった。

新たな学校推進課 本日の意見を踏まえて、5月に作成方法について報告したいと思う。また、皆

様にも個別にご意見を伺えたらと思う。引き続き、作成が2024年度中にできるようご協力いただきたい

会長

（閉会の挨拶）